

## 小出し給付 次は「年内7万円」

# 自治体任せ、職員悲鳴

12.26

電力や食料品などの価格高騰による負担増を踏まえて低所得世帯へ7万円給付する国の事業を巡り、鳥取県内の市町村では担当課の職員が連日事務処理に追われている。岸田文雄首相は「年内給付」を掲げるが、システム構築などで県内市町村の半数超が年明け支給に。生活困窮世帯からの苦情も寄せられ「1日でも早く支給を」と焦燥に駆られている。国が給付を頻発する現状に担当者からは恨み節が漏れる。

(取材班)

| 市町村名 | 給付開始日(見込み含む) |
|------|--------------|
| 鳥取市  | 12月25日       |
| 米子市  | 来年1月19日      |
| 倉吉市  | 来年2月初旬まで     |
| 境港市  | 来年1月中下旬      |
| 美郷町  | 12月25日       |
| 桜井町  | 12月27日       |
| 頭等町  | 12月27日       |
| 八頭町  | 12月27日       |
| 三朝町  | 来年1月10日      |
| 湯梨浜町 | 12月27日       |
| 琴浦町  | 来年2月上旬       |
| 北栄町  | 12月20日       |
| 日吉津村 | 12月25日       |
| 大山町  | 来年2月下旬       |
| 南郷町  | 来年1月中旬       |
| 伯耆町  | 来年1月下旬       |
| 日南町  | 12月28日       |
| 日野町  | 来年1月12日      |
| 江府町  | 来年1月末        |

7万円の給付事業は所得の抽出、通知文書の印刷・税と住民税が非課税の世帯 郵送といった手続きが必要を対象に、今年3月に決めで、人手を確保しなければならぬ場合もある。た3万円と合わせて計10万円を支給する内容。自治体は給付までに、議決による財源の予算化や、対象世帯の抽出、通知文書の印刷・税と住民税が非課税の世帯 郵送といった手続きが必要を対象に、今年3月に決めで、人手を確保しなければならぬ場合もある。た3万円と合わせて計10万円を支給する内容。自治体は給付までに、議決による財源の予算化や、対象世帯

なると「重点支援地方交付金」を盛り込んだ国の補正予算は11月29日に成立。給付対象を抽出する基準日を12月1日とするといった制度の詳細を示す国の事務連絡も同日だった。このため、12月定例会で補正予算案を上げるのが最終日になった自治体もある。

県内19市町村のうち、年内給付に間に合ったのは9市町村。今年実施した3万円給付事業で使用した口座情報などを基にプッシュ型

## 県内10市町が間に合わず

で進めることで対応する自治体が多い。鳥取市などは開会日に先議分で予算案を提案して間に合わせた。

一方で、年明け以降の給付とする10市町では、7万円給付と3万円給付では一部要件が異なるためにシステムを改修しなければならぬなどの事情を抱える。

■ 粛々と進める

県内でも、支給日にずれが生じるために、住民から地元自治体に問い合わせがある。このうち、倉吉市は「他の自治体は年内のうちに、なんで間に合わないのか」。米子市には「怠けとるのか」との批判もあった。いずれの自治体も事務作業に追われ、職員らは疲弊している。こうした中、国に対しての不満の声も聞かれた」と頭を抱えている。

鳥取市の自治体担当者は「国は自治体の事情を理解決してくれていない。いつまでこの給付が続くのか」と吐露。県西部の自治体担当者は「お叱りは受け止め、粛々と進めていくしかない」と歯を食いしばる。

さらに、国は7万円給付に加え、所得税は納めていないが住民税の「均等割」だけ納めている世帯へ一律10万円を給付し、18歳以下の子ども1人当たり5万円を上乗せする。来年2〜3月をめどに始める方針。給付を連発する状況に、県中には「小出し給付は、国の制度設計ができていない」ということ。一度にまとめて給付してほしいと、一度に